

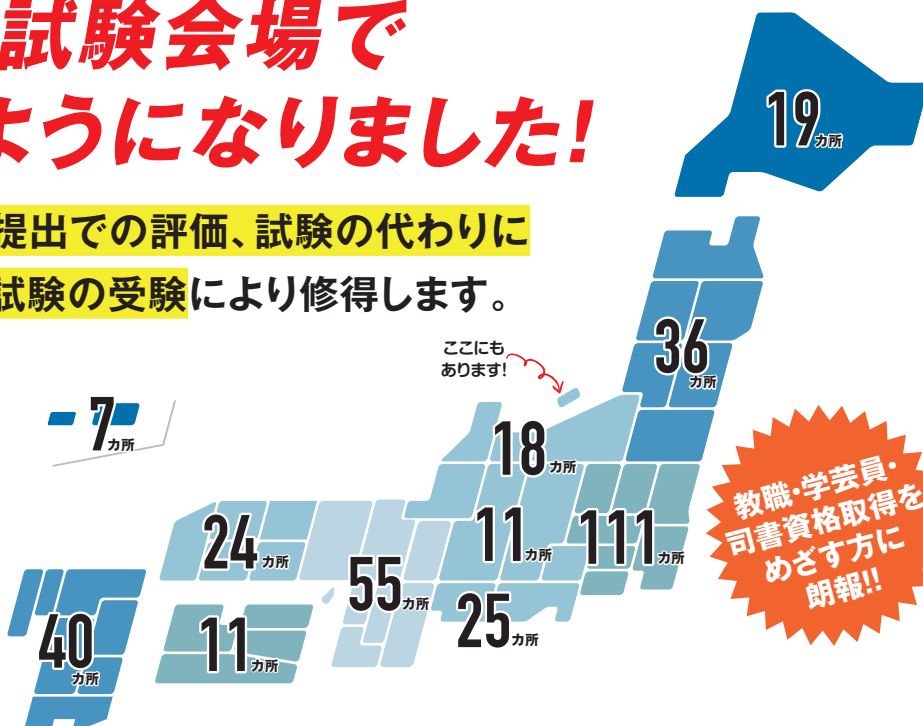
通信授業の試験が 全国357[※]の試験会場で 受けられるようになりました!

通信授業の単位は、課題提出での評価、試験の代わりに
提出する課題、通信授業試験の受験により修得します。



全国で続々増加中!

北海道・稚内から沖縄・石垣まで、試験実施会場は全国357カ所^(※)。単位修得に必要な通信授業試験をお好きな会場で受験できます。 ※会場数は2022年9月現在



教職・学芸員・
司書資格取得を
めざす方に
朗報!!

通信授業試験でのCBT試験導入は
国内の大学通信教育部で本学が初めて!

(アースコミュニケーションズ調べ)

CBT試験は全国357^{※1}会場と受験日時を選択できるから便利。
時間を有効活用でき、よりいっそう学びやすくなりました。



※会場写真はイメージです。

- 1 学習支援システムで受験許可の判定が出たらCBTサイトで予約する際に必要な情報(IDなど)が発行されます。
- 2 受験したい会場の試験実施スケジュールを確認し、受験可能日程から希望の日程を選んで申込を行います。受験日や会場の変更も可能です。

- 3 当日は会場のパソコンを使って受験します。必要なものは会場でお渡ししますので、安心して身軽にお越しください。
- 4 後日、試験の結果が学習支援システムを通じて通知されます。約2週間ほどで結果をお知らせします。



仕事や家事で多忙な人も
自分のペースで受験できる



スクーリングや他の学びに
時間を効率よく使える



受験のための移動の手間や
交通費の負担が軽減

※1) CBT試験とは「Computer Based Testing(コンピュータ ベースド テスティング)」の略称で、コンピュータを使った試験方式のことです。
※2) 会場数は2022年9月現在